



ミニトマト編

病害虫注意報 2021年11月号



※農薬の使用はラベルの記載に従ってください。



今月の注意点

11月になると天窓が開く時間が短くなり、湿度が高くなりやすいです。多湿環境が続くと、葉かび病、すすかび病、灰色かび病が発生しやすいとなりますので、定期的に防除を行いましょう！



灰色かび病

葉



灰色かび病

発病条件：

気温20℃位のやや低温で、多湿条件下で発生が多くなる。

注意点：

ゴーストスポットと呼ばれる白色円形の小斑点が果実に生ずる。被害も、この病原菌の影響です。

果実



葉かび病・すすかび病

葉表



葉かび病

発病条件：

葉かび病：気温20～25℃
すすかび病：気温25～30℃

注意点：

潜伏期間が約2週間

※症状が出ていない＝感染していない
では無いので注意！！

葉裏



- いずれも多湿条件下で発生が助長されます。適切な湿度・温度の管理を行いましょう！
- 葉かび病抵抗性品種を導入してもすすかび病は発病する可能性があるため防除は引き続き行いましょう！

今月のおすすめローテーション

対象病害虫によって希釈倍数が異なる場合があります。ラベルの確認をしてから使用してください。

時期	対象病害虫	薬剤名	希釈倍数	使用時期	回数	影響日数 マルハナバチ
11月①	灰色かび病・すすかび病 葉かび病 等 予・治	シグナムWDG	2,000倍	前日	2回	—
11月②	灰色かび病・すすかび病 葉かび病 等 予	アフエットフロアブル	2,000倍	前日	3回	1日
11月③	灰色かび病 葉かび病 予	ベルコートフロアブル	4,000倍	前日	2回	0日
11月④	灰色かび病・すすかび病 葉かび病 等 予・治	ファンタジスタ顆粒水和剤	2,000～3,000倍	前日	3回	1日

軟弱徒長株を強く！

エレマックス赤

0-28-26

1,000倍 葉面散布

樹を締めて徒長防止！
花芽分化・着果(花)の向上に！

◎石灰硫黄合剤、アルカリ性農薬、銅剤、液肥、ホルモン剤との混用は避けてください



肥料登録
輸第9423号

光合成能力UP！

ファイトマジック

1,000倍 葉面散布

キレートマグネシウム
+各種微量元素

★葉にテリ・ツヤ・厚みUP！
★日照不良時の代謝の向上！



肥料登録
生第87201号

白 酢

POINT

- ◆発根を促進し根張りが向上
- ◆固定されたリン酸の吸収を促進
- ◆一時的なpHの抑制



灌注時：100～300倍
散布時：300～1,000倍

※強酸性のため100倍以下にならないように注意